

児童生徒への学びの保障を！



金子 裕美



動画配信中

問

新型コロナウイルス感染症対策のため、市立小中学校において約3か月間の臨時休業が行われたが、休業中の授業の補完について見込みを聞きたい。

教育長

臨時休業中に不足した授業時数を確保するため、夏季休業の短縮や日課の変更に加え、年間指導計画の見直しによる学習内容の重点化、行事等の精選や準備期間の短縮のほか、朝学習の時間の活用などを行っている。こうした取り組みにより、現時点では当該学年で学習すべき内容を今年度中に全て指導できる状態である。

◆オンライン化

問

授業動画の配信だけでなくホームページでもオンラインを活用すべきと考えるが、市教育委員会主催の研修会等を試行的にオンラインで実施してはどうか。

教育長

生徒の健康状態の確認や、生徒と教師、生徒同士の交流のためにも、同時双方向によるオンラインホームルームは必要になると考えている。オンラインによる研修会等については、2学期中の実施に向けて検討していきたい。

おくやみコーナーの設置を望む！



藤本 秀樹



動画配信中

問

遺族の負担を軽減することを目的に、死亡に伴う煩雑な手続をワンストップで行うことができる専用窓口を設置してはどうか。

生活環境部長

現在はリーフレットを基に窓口への誘導や取次ぎを行っており、担当窓口で手続を行っていただくことで、より正確で適切な対応ができると考えている。今後関係窓口が連携し、ご遺族の心情に配慮したサービスを提供するとともに、先進地や近隣市の情報収集に努めていく。

◆ごみ出し支援

問

国は、自治体が負担するごみ出し支援の経費に対し、特別交付税措置を講じている。本市でもごみ出しが困難な世帯への支援が必要と考えるがどうか。

健康福祉部長

現在、ごみ出し支援はホームヘルパーによる生活援助や、ささえ愛ボランティア等による支援により行われているが、決められた時間に出せないことや、ボランティアの登録が少ないなどの課題もある。今後制度利用の周知を図るとともに、特別交付税措置の対象となる事業について先進事例を踏まえて調査研究していく。

映像のまち構想を

いつまで行政が続けるのか！



小林 貴浩



動画配信中

問

平成26年度から平成30年度における映像のまち構想の総事業費は約3億2千万円、直接的経済効果は約3億9千万円である。民間移行も踏まえ、同構想の最終目標や出口戦略を聞きたい。

市長

同構想は、若者の心を掴み、足利市を全国に発信できる唯一無二の取り組みと考えている。同構想が定着するまでには相当な時間がかかると考えており、本市に映像づくりの企業や人々が根づくことを目標とし、今後も取り組みを進めていきたい。

◆新型コロナウイルス感染症に関するいじめ問題への対応

問

特に小中学校において、事実とは異なる情報により同感染症に関連したいじめや差別が生じることを懸念しているが、今後の対策について聞きたい。

教育長

教員には子どもたちの心と体の健康状態の把握に加え、感染症に係る差別等が生じないよう配慮することを指導しており、保護者には風評等に惑わされないようお願いしている。今後も不安や悩みを相談できる関係づくりと子どもたちの心のうちの把握に努め、学校や家庭、行政が一丸となつていじめのない学校づくりに取り組んでいく。